

欧米のクラウド動向とGICTFの活動

2010年5月13日

青山友紀

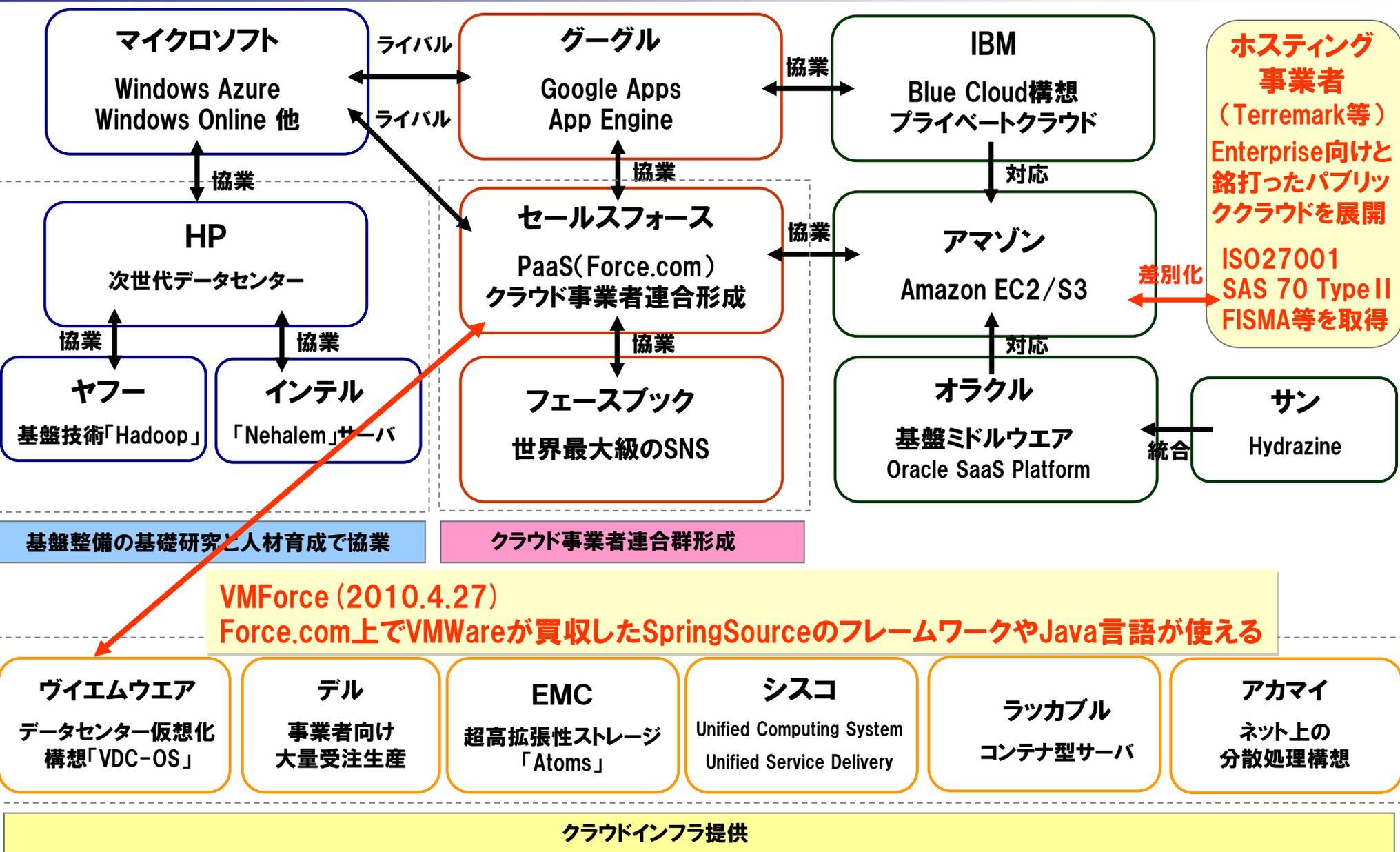
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科

NICTプログラムコーディネータ for NWGN

1. **欧米のクラウド動向**
2. **クラウド標準化動向**
3. **グローバルクラウド基盤連携技術フォーラム**

欧米のクラウド動向

米国のクラウド主要プレーヤ相関図



欧州のクラウド動向

- EUのICT投資は2-3billion EUR/year、コスト効果の高いクラウド導入は重要との認識
- EC(European Commission)が、2009年春にExpert GroupをDG INFSO/D3に発足、FP7ワークプログラムの中で活動中。
 - European Digital Agendaを準備中(Public European Cloud、High-Speed Internet Access、信頼性、セキュリティ等について記載)
 - 大規模な研究と実験のテストベッド
 - 産業と公共のステークホルダーが互いにジョイントプログラムで開発
 - Cloud Interoperability Standards、オープンソースリファレンス実装の開発／製品化を強化
- クラウド導入におけるEU特有な課題は、高速インターネットアクセスとPrivacy & Legal (データロケーション等、法律的な標準化が必要との認識)
- 欧州での実質的なクラウド推進はテレコム系企業(Orange、BT、Telefonica等)が中心
 - 欧州にはクラウドサプライヤが極端に少ない

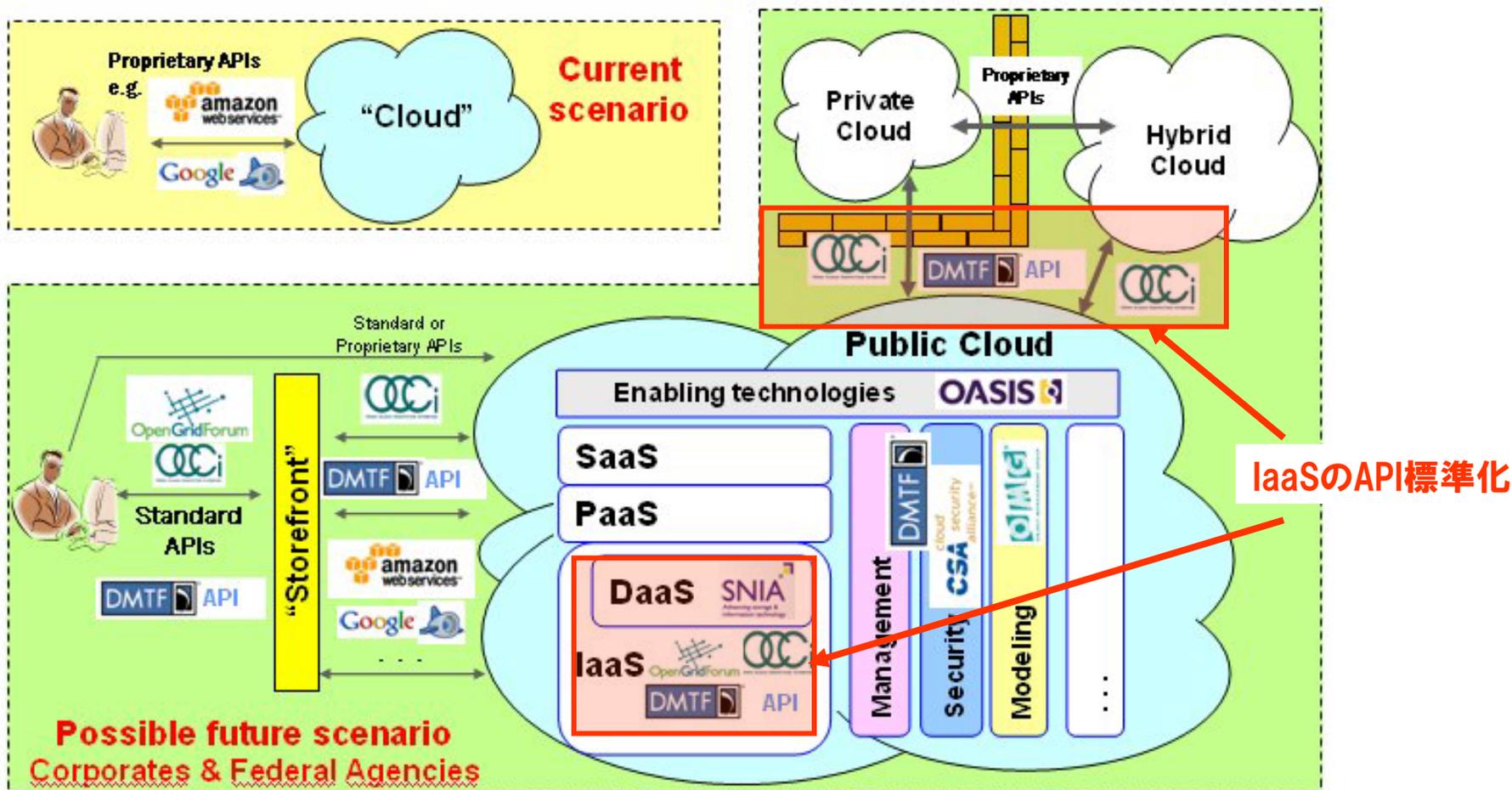
IaaS revenue by geography



クラウド標準化動向

クラウド標準化動向

- 各標準化団体では、IaaSのInteroperability確保に向けたAPI標準化やセキュリティ等を検討
- ITU-T(FocusGroup、SG13)、ISO/IEC JTC1(SC38)等、デジュール機関も検討を開始
- 主要ベンダからは、標準化は時期尚早との意見も…。(※顧客からの要望が強くない、現時点での標準化はイノベーションの障害となる…)



グローバルクラウド基盤連携技術フォーラム

(GICTF: Global Inter-Cloud Technology Forum)

・クラウドシステム間の連携インタフェースやネットワークプロトコルなどの
検討を産官学で推進

(Global Inter-Cloud Technology Forum: GICTF)

■主な活動内容:

- ・セキュアなクラウド連携のための技術要件の整理
- ・クラウド連携I/Fの検討と標準化団体への提案
- ・欧米の関連標準化団体とのリエゾン
- ・利用者に対する普及啓発(講演会・セミナーの実施)

■会員:57企業、3団体、有識者37名(4/26現在)

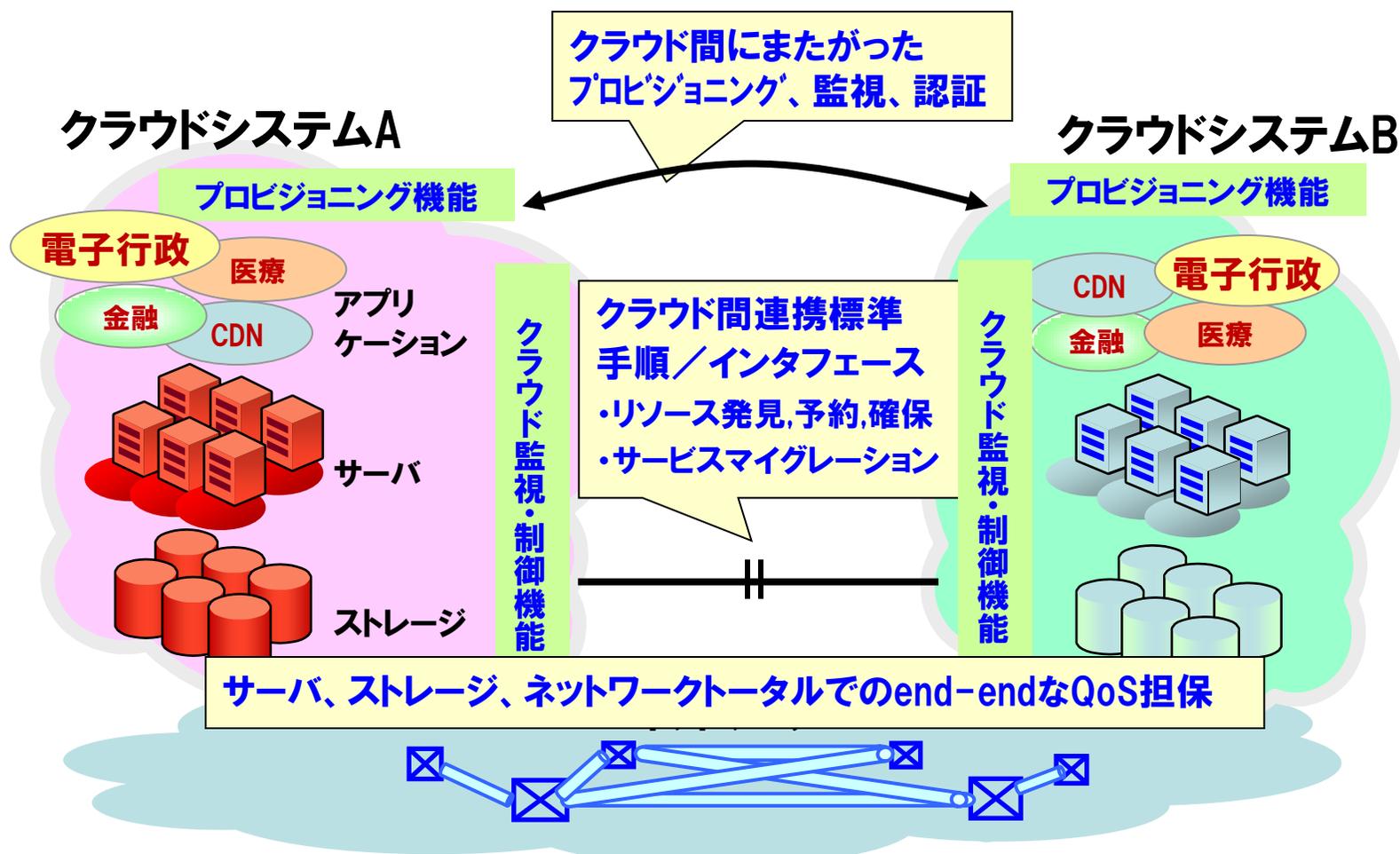
NTT、KDDI、NEC、日立、富士通、東芝ソリューション、Microsoft、IBM、Sun、Oracle、
Cisco、IIJ、BIGLOBE、NICT、NII、有識者(大学教授等) 他

<オブザーバ:総務省>

公式サイト: <http://www.gictf.jp/>

GIFTF技術部会における検討状況

- 月1回のペースで会合を実施(会員からのプレゼンテーションと技術ディスカッションで構成)
- 技術ディスカッションでは、クラウド連携のユースケース検討に加え、利用者に複数のクラウドを使っていることを意識させずにサービスを提供するために必要となる技術の実現に向けて、活発な議論を実施中



GICTFと他機関・団体との連携

